

衆議院議員 元秘書
1973年3月16日生まれ
中央大学法学部卒 / 青山学院大学
大学院法学研究科 修士課程修了
0、2歳児、高校生、大学生、4人の子育て
真つ最中 夫(弁護士)



長谷川たかこ

区議会レポート

風疹が大流行中です。昨年末で都内の累積患者数は前年比約36倍。そして、今年に入ってインフルエンザとリンゴ病も猛威をふるっています。とくに妊娠中の女性は風疹ワクチンを接種できません。男女問わず風疹のワクチン接種で、十分ご注意くださいませ。

いまの『子ども医療費』を拡充します!

◆経済的な負担をカバーしたい!

足立区でも0歳から18歳までの医療費(入院時食事代も含む)を無料にし、子育てしやすい足立区を創るために、全力で足立区行政に働きかけていきます!

◆3種類の医療費助成制度

現在、東京都では、子どもの年齢や家庭状況によって3種類の医療費助成制度があります。

- マル乳…乳幼児医療費助成制度 0~6歳
- マル子…義務教育就学児医療費助成制度 7~15歳
- マル親…ひとり親家庭等医療費助成 16~18歳
(障害がある場合には20歳まで)

◆子どもにかかる医療費の助成を拡充して経済的負担を軽減しよう!

現在の足立区の制度では、中学生まで(15歳)所得制限なしで子どもの医療費が無料となっています。しかし、中学校を卒業したらその枠から外れるため、医療費が自己負担となります。ご家庭の様々な経済的な事情で、子どもたちが病院に行くことにはばかられることも否めません。

◆皆さん、ご存知でしたか?

千代田区・日の出町・奥多摩町は
18歳まで医療費無料!

2011年4月から千代田区・日の出町、2013年4月から奥多摩町では「高校生等医療費助成制度」を開始。所得制限はなく、助成は現物給付方式による全額助成です。

千代田区においては、千代田区以外の医療機関で受診した場合には、償還払いでの対応があります。

◆北区では高校生等の

入院医療費助成制度を開始しています!

足立区のお隣、北区においては、2011年7月から高校生等の入院医療費助成制度を開始。

所得制限はなく、助成は現物給付方式による全額助成です。



◆足立区は0歳~15歳まで医療費は無料 しかし入院時の食事療養費は自己負担!

東京23区中、すでに12区*では子どもが入院した際に発生する食事療養費が所得制限なしに全額助成です。いったん自己負担分を支払った後に、領収書等と共に申請をすると、償還払いを受けることができます。

*12区…中央区・港区・新宿区・台東区・品川区・目黒区・大田区・世田谷区・渋谷区・豊島区・練馬区・江戸川区
ただし豊島区は0歳~6歳までに限ります。

◆皆さん、ご存知でしたか?

入院時の食費がどんどん値上がり

2017年4月1日から健康保険法等の規定に基づき、入院時の食事代がこれまでの食材費相当額に加えて、新たに調理費相当額を負担することとなり高くなりました。

現在の入院時の食事代は、一食当たり460円!!

◆入院時一食当たりの負担額が この2年間で200円値上げしています!

<入院時1食当たりの負担額>

2016年3月31日まで260円だったのが、2016年4月1日から360円に。さらに2018年4月1日から460円になりました。この2年間でいっきに入院時の食事代が200円値上がりしました!

*住民税非課税世帯や指定難病・小児慢性特定疾病の患者の方などの負担額は据え置かれているので、負担額の引き上げはありません。



早稲田大学
マニフェスト研究所
マニフェスト大賞

第5回 最優秀政策提言賞 「行政街づくりへのユニバーサルデザインの導入」
第12回 優秀政策提言賞 「生きづらさを抱えた人」に対する支援事業の構築
第13回 優秀政策提言賞ノミネート 「妊娠・出産・育児等と働き方の両立支援」

長谷川たかこの政策提言が全国トップレベルの取り組みとして進んでいます!

東京23区中ワースト1から トップレベルまで引き上げました！

2017年2月の本会議と3月の予算特別委員会で長谷川たかこは足立区のワクチン任意接種公費負担制度を言及し、現在の足立区の制度を東京23区中ワースト1からトップレベルまで引き上げました。

このことにより、定期接種のMRワクチン第1期・第2期について、やむを得ず対象年齢を超えてしまった子どもたちに対する有効接種期間延長の対策に緊急財政措置が図られ、2017年4月1日より2回接種(無料)が可能となりました。長谷川たかこの政

「MRワクチン任意接種公費負担制度2回助成」制度が実現。
足立区の制度は、
見直していかないとまだまだ不十分。

策実現により、現在、『区内在住、麻しんまたは風しんにかかったことのない2歳～高校3年生相当の年齢を対象に、2回を限度に任意接種の公費負担を行う』ことが進められています。

2017年4月1日から対象者の要件が拡大されたことで2016年度MRワクチン接種者が114名だったのに対し、2017年度は253名、2018年度11月時点では282名もの子どもたちに対してMRワクチンの接種漏れに対応することができました。

ご意見・ご要望は…

長谷川たかこ

活動や政策の詳細はホームページをご覧ください

<https://takahase.weblogs.jp>

長谷川たかこの政策2019

ご意見・ご要望はEメールへ
info@takahase.com



このレポートは、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構*のアドバイスのもと、色覚の個人差を問わずご覧いただけるようカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しました。(ロゴやイラストは対象外)
*カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)とは、色覚バリアフリー/カラーユニバーサルデザインへの配慮を啓発する活動を行うことを目的に2004年に設立されたNPO法人です。

子どもたちにやさしい足立区を

◆子どもたちにやさしい足立区を

季節の変わり目や、ちょっとしたきっかけで子どもたちは何かと体調を崩しやすいもの。

中学生までは医療費が無料だったのに、高校生になった途端、そのたびに医療機関に支払うお金は、大きな出費です。子どもたちが中学生から高校生になってくると、子どもたちの毎月の学費や塾代・お稽古代、家のローンや水道光熱費、食費代などで親御さん達にとっては本当に毎日がいっぱい生活になってくるかと思われま

す。世の中の親御さん達は我が子をしっかりと育てるために、先ずは我が身の衣食住のどこかを削ってやりくりをし、毎日を家族のために懸命に頑張っ

て過ごしているらっしゃるかと思

長谷川たかこの政策提言

0歳から18歳までの 子どもたちの医療費を無料化に。 入院時の食事代も無料に。

☆現在の『子ども医療費』を拡充し、0歳から18歳までの子ども医療費を無料にして入院時の食事代も無料にしていきます！

長谷川たかこは、『安心して子育てできる足立区』『子どもにやさしい足立区』を全力で創っていきます。社会のすう勢と自身の体験をふまえて、妊娠、出産、産後の政策提言をまとめました。

ぜひご一読くださいませ。

安心して子育てが
できる足立区を
つくります

子どもの医療費
0歳から18歳まで
無料化を！